



赤坂中学校ブロック研究会・授業づくり部会から、「ハーモニックス (Harmonics)」を発行します。授業づくり部会での話し合いの内容や、各校で行われる研究授業・研究協議の一部を紹介します。詳細、全部、丸ごとではありません。あくまでも一部です。

「ハーモニックス」とは、「弦楽器で、弦の長さを正確に分割した一点を軽く指で押さえ、倍音の原理を利用して得られる高音。(大辞泉より)」の事です。(「22歳の別れ」のギター伴奏の中で、「ポーン」と高い音が出てくる部分がありますがそんな音です。) 弦はどこを弾いても音が出ます。でも、弦のある一点を軽く抑えて弾いたときにだけ高音の澄んだ音が出ます。ちょっとずれてもその音は出ません。押さえどころが肝心です。研究を進めていく、授業を作っていく中でも、押さえどころによって、不協和音となり、ありふれた音になります。軽く、そっと、先生方と共に、子供と共にその1点を抑えることで、澄んだ一つ上の音、高音がだせるといいな～と思い、「ハーモニックス」と勝手に題を付けました。この通信で、押さえどころを共に探りながら、赤中ブロックとして良き音を奏でることができればと思っています。

第2回授業づくり部会報告

◎授業づくり部会の全体構想図を検討中。

めざす授業を図でまとめた物を制作中です。めざすことは見えているのですが、それを言葉と図にしようと思うとなかなかうまくいかないものです。もう少しで形になりそうですが今の段階ではこの様な形になっています。各校研究主任から報告もあると思います。良きアイデアをいただければと思います。

◎共通学習規律の共通理解

個人個人では当たり前のように授業の中でしている学習規律も、実際に出し合ってみると、微妙に違いがあります。小学校を卒業して中学校で共に学ぶ子供たちに、最低限必要な共通した規律をとの思いから、絞り込んだ赤中ブロック共通学習規律を提案します。すでに前年度から目にしている内容もありますが、今回の授業づくり部会の協議で、話形について次のような話になりました。



- ・発表ではっきり言わせることは、「主語」「語尾」「理由」それを徹底する。ただし、主語と理由については、発表の内容によっては、省略する。
- ・具体的な話形は、去年発表のあった桜が丘中ブロック研究会の山陽北小学校の紀要P53にある話形を参考にするとよい。

◎指導案の形式

6月の公開授業に向けて指導案づくりがすでに動き出しています。その枠になる指導案の形式が、ほぼ決まりました。

- ①単元構想を本時案の後に付ける。
- ②単元構想の中の研究に関する内容については太字で示す。
- ③「指導上の立場」の中の「(3)指導上の工夫について」の中に、本時の研究主題に迫るための支援と工夫を書く。

このあたりが、以前に示した指導案と変わったところです。

また、公開授業に際しては、前記の③の部分を参観の視点として簡単にまとめた下図のようなプリントを、授業者が参観者に配布し、研究協議に役立てます。

ただし、指導案の形式・参観の視点のプリントは、実際に授業研究協議をしながら使いやすい形式に変えていきます。

◎赤中ブロック公開授業・研究協議

第1弾 6/2 軽部小学校

13:30～14:15 公開授業
(3年生 算数「割合」)

14:30～16:00 研究協議・指導講評
(教育委員会・〇〇大学△△教授)

6月には他にも公開授業が目白押しです。赤中ブロック公開授業(6/9 笹岡, 6/23 赤中)の他に、各校開催の授業もあります。各校より公開授業の案内が少なくとも3日前には入りますので、情報チェックをお忘れなく。

平成〇〇年〇月〇日()第〇校時	
第〇学年	教科 単元 指導者〇〇〇〇
授業の視点	児童の姿・教師の姿・メモ
①〇〇〇〇のための支援 ・具体的な内容	
②〇〇〇〇のための支援 ・具体的な内容	

公開授業用参観の視点シート(案)

◎次回 赤中ブロック授業部会(案) 6月10日(木) 15:30～ 軽部小学校

編集者のつぶやき

授業づくり部会は、毎回熱が入り3時間超の会議です。次こそは勤務時間内に終わらせるべく、段取りよく進めます。頑張ります。できるといいな～。ひよっとすると…。